

## 今回のおはなし



「インフルエンザ脳症」



「スモークハラスメント」



# インフルエンザ脳症

**発症した人の経過**

不明など 2%  
死亡 6%  
後遺症(重症) 7%  
後遺症(軽度/中等度) 14%  
治癒 71%

患者の多くは、乳幼児。年間100~300人が発症し、6%が死亡

※国の研究チームの調査報告より作成

---

**こんな時に脳症を疑う!!**

**けいれん**

- 平らな場所で横向きに寝かせる
- けいれんが5分以上続く
- 意識が戻らない!
- 衣服をゆるめる

**異常行動/言動**

- 両親のことがわからない
- 自分の手を食べ物と思ひ込み、かむ
- 幻覚を訴える
- 急に怒ったり泣いたりする
- 大声で歌い出す

1時間以上続く

**意識障害**

大きな声で名前を呼んだり、体を揺すったりしないと目を開けない

迷わず 119番

---

**治療法**

- 入院治療が原則
- 抗ウイルス薬で発熱や症状の改善を目指す
- ステロイドやガンマグロブリンを投与して免疫の暴走を抑える
- 全身を冷やして平温(36度)を維持する

---

**予防するには?**

2020、21年は新型コロナウイルスの水際対策で国内のインフルエンザ感染者数が大幅に少なかった

この冬は大流行の恐れ

ワクチン接種で脳症のリスクを減らせる(生後6か月以上が推奨)

国内のインフルエンザの推計受診者数 (国立感染症研究所の資料を基に作成)

年	推計受診者数
2018	1,209万
19	900,000人
20	728万
21	500,000
22年	1万
23年	4,000
24年	3,000
25年	?

シーズン(秋~翌年春)

今年の冬は、3年ぶりに季節性インフルエンザの本格的な流行が予想されています。

乳幼児の場合、生死にかかわることもある「インフルエンザ脳症」になる恐れもあり、早めに小児科を受診してください。手洗いやうがいなど新型コロナウイルス感染症対策に加え、ワクチンの接種も検討してください。

インフルエンザA型は脳症を起こしやすいタイプで、乳幼児のいる家庭では十分に注意をして下さい。

インフルエンザ脳症は、体に入ってきたウイルスを攻撃する免疫が過剰に働くことで、脳に激しい炎症などが起き、腫れが生じる病気です。患者さんの多くは乳幼児で、発熱後、数時間から1日程度して発症することが一般的ですが、数日以上たってから発症することもあります。けいれんや意識障害、異常な行動や言動が主な症状です。

## スモークハラスメント(和製英語: smoke harassment)とは、

職場などにおいて自己の意思に反して喫煙者が非喫煙者に対して喫煙することを強制したり、たばこの煙にさらされるなど、いわゆる「喫煙に関する嫌がらせ行為」を意味する日本語の造語(和製英語)です。略してスモハラともいいます。

日本の作家・山本由美子によって1993年(平成5年)に提唱され、徐々に普及しました。

一般的な労働現場や関連する業務中など、主に上司からの喫煙の許可若しくは非喫煙者に対して喫煙することの強要を断り切れず、喫煙若しくは受動喫煙を避けられない状況を強いられるような、喫煙にまつわるハラスメント行為全般を意味しており、パワーハラスメントの範疇に含まれるケースもあります。

明けましておめでとうございます。

昨年もお愛読いただき、ありがとうございました。

今年も身近な話題を中心に、ご提供していきたいと考えて

おりますので、宜しくお願い致します。

薬のことなら、なんでも薬剤師に遠慮なくご相談下さい。

浦安市薬剤師会のホームページもご覧下さい。



## (一社) 浦安市薬剤師会

〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812 (月~金: 10~15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス yaku\_ura\_t@urayaku.jp

ホームページ <https://www.urayaku.jp/>